



## 2022年度 ウォーク事業計画

(2022年4月～2023年3月)

番号	月 日	種 別	事 業 名	集合駅・場所	解散駅・場所	距 離
1	4月02日(土)	1回シリーズ	玉川上水【羽村駅から拝島駅】	羽村駅	拝島駅	9km
2	4月23日(土)	第164回定例	明治神宮から代々木八幡宮を歩く	代々木駅	代々木八幡駅	8km
3	5月14日(土)	第165回定例	慈雲山曼荼羅手から石神井公園散策	練馬高野台駅	大泉学園駅	8km
4	5月28日(土)	51回カルチャー	小石川植物園から小石川後樂園	白山駅	水道橋駅	8km
5	6月11日(土)	総会ウォーク	深緑の仙川上水散策と通常総会	東小金井駅	西久保コミセン	6km
6	6月25日(土)	第166回定例	九品仏浄真寺から等々力溪谷散策	九品仏駅	二子玉川駅	8km
7	7月09日(土)	2回シリーズ	玉川上水【拝島駅から鷹の台駅】	拝島駅	鷹の台駅	11km
8	7月23日(土)	第167回定例	シロガネーゼの庭園と自然探勝	恵比寿駅	高輪ゲートウェイ駅	8km
9	8月06日(土)	52回カルチャー	隅田川クルーズと納涼会	神谷町駅	納涼会 会場	4km
10	9月17日(土)	第168回定例	妙正寺公園から神田川合流点 辰巳橋	井荻駅	下落合駅	11km
11	10月08日(土)	3回シリーズ	玉川上水【鷹の台駅から三鷹駅】	鷹の台駅	三鷹駅	10km
12	10月22日(土)	第169回定例	観音崎から東京湾出入りの船展望	馬堀海岸駅	京急 浦賀駅	10km
13	11月05日(土)	53回カルチャー	目黒不動尊から洗足池・勝海舟記念館	目黒駅	洗足池駅	8km
14	11月26日(土)	第170回定例	紅葉の秋川溪谷と秋川瀬音の湯	武蔵五日市駅	瀬音の湯(バス停)	8km
15	12月03日(土)	第171回定例	古都鎌倉を今に伝える名刹めぐり	鎌倉駅	鎌倉駅	8km
16	12月17日(土)	第172回定例	東生田緑地から生田緑地散策	よみうりランド駅	向ヶ丘遊園駅	9km
17	1月07日(土)	第173回定例	新春 池上本門寺と池上七福神めぐり	西馬込駅	池上駅	8km
18	2月11日(土)	4回シリーズ	玉川上水【三鷹駅から上北沢駅】	三鷹駅	上北沢駅	9km
19	3月11日(土)	5回シリーズ	玉川上水【上北沢駅から四谷大木戸】	上北沢駅	新宿御苑前駅	10km
20	3月25日(土)	第174回定例	武蔵野の路 野川コース	国領駅	二子玉川駅	10km

注) 例会ウォークの日程・集合駅・解散駅・歩行距離は変更させていただく場合があります。

当会の例会案内 および 日本ウォーキング協会の「ウォーキングライフ」等でご確認ください。

## 2022年度ウォーク事業のポイント：

**昨年、一昨年中止となった事業を優先的に実施することにしました。**

**例会ウォーク**は、新たに 壮大な人工林 明治神宮と都心の自然 代々木八幡宮、NHK 大河ドラマで話題の古都鎌倉の名刹めぐり、東生田緑地から生田緑地散策、が加わりました。

**カルチャーウォーク**は、5月 小石川植物園から小石川後樂園、8月 隅田川クルーズ、11月 目黒不動尊から洗足池と勝海舟記念館見学 等、歩行距離よりも見学・体験を重視しました。

**シリーズウォーク**は、昨年度中止となった『玉川上水をくだる』を全5回に分けて開催します。

## 一寸先は闇

理事長 近藤 和義

皆様こんにちは。日頃より活動にご参加くださりありがとうございます。しかし一昨年から未知なる感染症であったコロナ型ウイルスのため、活動はほとんど行えず、誠に残念なことになっております。

新型コロナウイルスは我々人間を襲ってきましたが、そのウイルスは次々と形態を変え、世界では昨年後半よりオミクロン株に変異をし、猛烈な勢いで感染が広がりました。

日本には今年初めから広がり、これまでにない多くの感染者を出し、社会に大きな影響を出すようになってしまいました。

一昨年1月、だれがこの新型コロナウイルスを予測できたでしょう。まさに一寸先は闇なのです。

私たちの団体は比較的高齢の方が多く、感染すると重篤化する一つの要因に挙げられています。このため前述いたしましたように活動を自粛し、万が一に備えておりました。

しかし昨年10月末から11月にかけて日本では罹患者数が大きく減少し、少しずつではありますが日常を取り戻しつつありました。なぜ日本だけ減っているのかも全く分からない状況でしたが、飲食店、催事などの規制が大きく改善してまいりました。

感染が落ち着きを見せたため、私たち歩こう会でも歩行事業を昨年11月6日を皮切りに再開しました。

11月6日は市川駅から文化のにおいがする地域を通り、矢切の渡しから柴又までのコースを実施しました。

スタート時に皆さんに、しばらくぶりの団体歩行です。ケガの無いように楽しく歩きましょうと挨拶しました。

快適に歩行が始まり、文化のにおい、多くの文豪の足跡などを感じながら江戸川の河川堤防に設置された遊歩道を楽しみました。

突然左足が見えない穴に落ち、あっという間に転がって、両膝、左肘、右手中指、額の5か所を打撲、裂傷のケガをしてしまいました。表題で申し上げたように「一寸先は闇」でした。舗装されている遊歩道に草がかぶっていたとはいえ、まさか穴があったとは認識できず、残念な結果になってしまいました。

ケガの無いようにと呼びかけた本人がこのようにことで誠に面目ありません。幸い3週間ほどで8割回復しました。現在は完治しています。

そこで提案いたします。皆様には「以って他山の石とせず」を教訓として、安全に快適に歩行できますよう気をつけましょう。



## 例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

## 第1回 シリーズ

## 玉川上水をくぐる【羽村駅から拝島駅】

開催日時 2022年4月2日(土) 午前9時集合  
集合場所 JR青梅線 羽村駅 駅前広場  
解散場所 JR青梅線 拝島駅 午後2時頃  
歩行距離 約9キロ

本年度のシリーズウォークは、昨年度計画するも新型コロナ感染拡大により中止となった玉川上水緑道、羽村取水堰から四谷大木戸までの43キロを5回に分けてのウォークを再度チャレンジします。

玉川上水は、徳川3代将軍家光のころに、参勤交代制度で大名とその妻子や家臣等を江戸に在住させるようになり、人口は急激に増え、従来の神田上水だけでは飲用水が間に合わなくなった。そこで幕府は水不足を根本的に解消するため、新たに上水をひくことにした。幕府から依頼を受けた庄右衛門、清右衛門の兄弟が工事を請負、工事期間8カ月で完成した。(当時の幕府の正式記録には1か年半と記録されています) その功績に対し、士分に取り立て名字帯刀を許し玉川性を名乗ったとのこと。その流域市町村は羽村市を始め9市4区を東流し羽村取水堰から四谷大木戸まで43キロに及びます。また、2003年8月 江戸・東京の発展を支えた歴史的価値を有する土木施設・遺構として文化財保護法に基づき国の史跡に指定されました。

羽村取水堰は3つの堰で構成されています。第1水門、第2水門堰の横には、筏通し、洪水時の備えに用いた牛柵と呼ばれる構造物と玉川上水を完成させた玉川兄弟の像が取水口を見守るように立っている。

第3水門から羽村大橋、富士山が見える丘・加美上水公園と玉川上水を東南に進み、宮本橋を右折し嘉泉田村酒造場を見学後、中福生公園にて昼食休憩とします。

昼食後、熊野橋から奥多摩街道、山王橋通りと歩を進め五丁橋から水喰土公園へ。この不思議な名前は、玉川上水の堀を、掘っても掘っても厚い砂利層が水を吸い込んだことに由来しているそうです。小休憩の後、日光橋公園からゴールの拝島駅へ向かいます。

春はさくら、初夏の若葉、秋の紅葉等・・・落葉樹におおわれ、今なお武蔵野の面影を残す玉川上水の景観と春の風の香りをご堪能ください。

なを、5回完歩者には完歩記念として、表彰状と豪華な記念品を贈呈します。

歩行コース 羽村駅前/スタート→玉川水神社→羽村

取水堰/WC（第1,2,3水門・牛柵・筏通し・玉川兄弟の像）→羽村大橋→加美上水公園→宮本橋→嘉泉田村酒造場/見学→宿橋→中福生公園/昼食→熊野橋→牛浜橋→五丁橋→水喰土公園/WC→日光橋公園→拝島駅 ゴール

(文：M・M)

## 第164 回定例ウォーク

### 明治神宮から代々木八幡宮を歩く

開催日時 2022年4月23日(土) 午前9時集合  
 集合場所 JR総武線 代々木駅 西口広場  
 解散場所 小田急線 代々木八幡駅 1時30分頃  
 歩行距離 約8キロ

明治天皇と昭憲皇太后のご遺徳を長く後世に伝えるために大正9年に「永遠の杜」として創建されました。北は樺太から南は台湾まで、国内はおろか海外からも植樹を希望する声が寄せられ、約10万本もの献木が集まった。これを11万人の青年奉仕団が植樹して出来上がったのが明治神宮の杜です。境内の面積は73ha（東京ドーム15個分）の広さを誇ります。また、毎年正月の初詣で全国最多の参拝者で賑わいます。

境内の、明治神宮御苑は江戸時代の初めに建てられた加藤家屋敷の庭園。その後、井伊家の所有を経て、明治時代に宮内庁の所管となり、明治天皇、昭憲皇太后が何度も訪れました。苑内の最奥部には加藤清正が掘ったと伝わる清正井があり、湧出した清水が小川となり南池に注いでいます。途中で武蔵野特有の落葉広葉樹に包まれて、山ツツジが群落をなしています。また、明治天皇ゆかりの菖蒲田や、丘の上には昭憲皇太后の休憩所の数寄屋造りの隔雲亭を見学します。その後、明治神宮本殿を参拝し、西参道から広い境内をぐるりと一周し南参道から原宿門を経て代々木公園へ。この公園は陸軍代々木練兵場、米軍宿舎、東京オリンピック選手村を経て一般公開されました。こちらも54ha（東京ドーム12個分）の広さがあります。園内の噴水が上がる中央広場にて昼食休憩とします。

昼食後、散策路を半周し、参宮橋門から貴重な自然林が今に残り、鎌倉時代の創建と伝わる古社の代々木八幡宮へ。境内には昭和25年に縄文時代の住居跡や、土器、石器などが発見され、竪穴式復元住宅や出土品の一部を見ることが出来ます。

**歩行コース** 代々木駅西口広場/スタート→北参道入口→北参道（明治神宮会館・参集殿）→大鳥居→明治神宮御苑/見学（隔雲亭・花菖蒲田・清正井・ツツジ山・南池）→本殿→神楽殿→西参道→志誠館→宝物殿→北池→南参道→原宿門→代々木公園/昼食（バードサンクチュアリ・中央広場・噴水）参宮橋門→代々木八幡宮/見学→代々木八幡駅 ゴール

※明治神宮御苑 入苑料 400円が別途必要です

(文：M・M)



## 第165 回定例ウォーク

### 曼荼羅寺観蔵院から石神井公園散策

開催日時 2022年5月14日(土) 午前9時集合  
 集合場所 西武池袋線 練馬高野台駅 駅前広場  
 解散場所 牧野記念庭園 西武池袋線 大泉学園駅  
 徒歩5分

歩行距離 約8km

今回のウォーキングは、お花が綺麗な曼荼羅寺観蔵院から石神井池と三宝寺池の二つの池からなる石神井公園の自然と歴史を楽しむウォーキングです。

練馬高野台駅前広場をスタート。桜並木の緑のトンネルの石神井川から長光寺橋公園を横切り平成みあい橋と名付けられた歩行者専用橋を渡り、都営南田中アパート群を通り抜け観蔵院へ。曼荼羅寺観蔵院は、春はさくらやコブシ、夏はさるすべりが咲き、秋にはススキの穂が揺れ四季折々の花曼荼羅を見せてくれます。小休憩後竹林が美しいおくらやま憩いの森・閑静な住宅街を通り抜け石神井公園に向かいます。石神井公園に併設された記念庭園からボートが浮かぶ石神井池にて小休憩し、三宝寺池にて昼食休憩とします。

午後、公園内の木道を進み、水辺観察園や国の天然記念物に指定されている沼沢植物群落を鑑賞します。都会でこれだけの自然景観があることに感動を覚えます。その後、巖島神社、穴弁天、水神社、石神井城址を見学します。石神井城跡の南側には、石神井城主豊島輝時が建てた道場寺、池の名の由来となった三宝寺、氷川神社が並び寺町らしい落ち着いた佇まいを見せてくれます。寺町をぐるりと一回りして石神井公園野鳥誘致林を経てゴールの大泉学園へ向かいます。駅の近くの牧野記念庭園にて本日のウォークを終了し解散とします。

歴史と自然景観豊かな石神井公園ウォークをお楽しみください。多くのご参加をお待ちしています。

**歩行コース** 練馬高野台駅南口広場/スタート→石神井川→長光寺橋公園→平成みあい橋→都営南田中アパート→石段（登る）→南田中憩いの森→南田中児童館・敬老館→宮沢酒店→観蔵院/参拝・小休止→おくらやま憩いの森→十善戒寺→豊島橋/石神井川→記念庭園/WC→石神井公園/昼食（石神井池・野外ステージ・三宝寺池・水辺観察園・沼沢植物群落・浮島・殿塚・姫塚・巖島神社・穴弁天・水神社・石神井城跡・道場寺・三宝寺）→釈迦本寺→野鳥誘致林→石神井グランド→富士街道→石神井学園前→上石神井通り→牧野記念庭園/ゴール→大泉学園駅

(文：M・M)



## 第51回カルチャーウォーク

### 小石川植物園から小石川後樂園

開催日時 2022年5月28日(土) 午前9時集合  
 集合場所 白山公園 都営三田線白山駅 徒歩2分

解散場所 JR 総武線 水道橋駅 午後2時頃  
 歩行距離 約8km

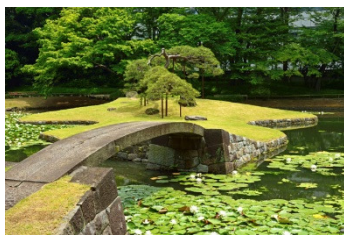
今回のカルチャーウォークは、文京区にある東京大学大学院附属植物園である「小石川植物園」と水戸徳川家 初代藩主 頼房が江戸中屋敷(後に上屋敷)の庭として造り、二代藩主 光圀の代に完成した「小石川後樂園」をめぐる。

最初に訪れる『小石川植物園』は日本最古の植物園であり、1684年に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」が前身です。面積は約161,588㎡(48,880坪)あり、多様な植物が配置されています。時代劇に登場する『小石川養生所』は1722年に園内に開設され、現在小石川養生所の井戸が残っています。その他「ニュートンのリンゴの木」、「メンデルのブドウの木」、「公開温室」などもみどころです。

次は1415年了誉上人が開山した「浄土宗 傳通院」へ。ここには徳川家康公の生母 於代の方(法名：傳通院殿蓉誉光岳智香大禅定尼)、二代秀忠公の娘 千姫 等徳川家由縁の方々の廟所、幕末の志士・清河八郎、作家・柴田錬三郎 他多くの著名人が眠っています。

ゆるやかな下りの安藤坂を進むと、黒牛に乗った菅原道真公の御神託により牛を守護神とした「牛天神 北野神社」に到着。この神社は1184年、源頼朝により創建されました。

本日ウォークの最後は1629年に造られた『小石川後樂園』を見学。ここで昼食休憩とします。面積は約70,847㎡(21,469坪)で、庭園様式は回遊式築山泉水庭園。中国文化に造詣が深かった光圀が円月橋、西湖堤など中国の風物を取り入れ、園名も“天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ”から名づけられました。西門から入り、東門から出て水道橋駅でゴールとなります。



緑多き植物園、庭園めぐりで有酸素運動をしましょう。

歩行コース 白山公園(スタート)～白山下交差点～御殿坂～小石川植物園(見学・WC)～播磨坂～三百坂～傳通院～安藤坂～牛天神 北野神社～小石川後樂園(昼食・WC)～水道橋駅(ゴール)

※「小石川植物園」及び「小石川後樂園」入園料計500円(団体扱い)が別途必要です  
 (文：T・Ko)



## 2022年度 総会ウォークと通常総会

開催日時 2022年6月11日(土) 午前9時30分集合

集合場所 JR 中央線 東小金井駅 北口ロータリー

解散場所 総会会場 (西久保コミュニティセンター)

(JR 三鷹駅北口より徒歩10分)

歩行距離 約5km

2022年総会ウォークは、一級河川とは名ばかりの仙川周辺を歩き、総会会場の西久保コミセンに向かう歩行コースです。

中央線東小金井駅を出発。梶野通りを北進すると10分ほどで梶野市杵島神社いちきしまに到着。梶野町の氏神様を拝見し、先へ進む。程なく梶野分水築樋跡つきどいに到着。築樋は川と用水の立体交差の場所で、土を固めて土手を築き川や低地と交差させる工法です。昔の人の知恵を感じます。

その後 桜堤団地地区に入ります。ここは住宅公団や住宅供給公社などが土地を民間に売却したところで、古い官製住宅が巨大な民間マンション群になっています。仙川側道を歩き桜堤公園で小休止をします。

休憩後仙川緑地、サンバリエ住宅、古瀬公園、松露庵を抜け、境山谷緑地を通過します。この緑地は「独歩の森」として市民に親しまれています。

この森を抜けると境の豪農であった高橋家の大ケヤキ、高橋一族の八坂神社を拝見し、玉川上水緑道に入ります。その後西久保公園を抜け、総会開催地である西久保コミュニティセンターに到着します。



新型コロナウイルスの影響でコミュニティセンターでは飲食禁止になっているため、誠に残念ですが、懇親会は行わず、総会のみで開催になります。

歩行コース JR 東小金井駅 北口～梶野通り～東京

電機大学中学校高等学校～市杵嶋神社いちきしま～梶野分水築樋かじのぶんすいづき～桜堤公園～桜堤商店街～桜堤団地～古瀬公園(松露庵)～都立武蔵高校～境山野緑地～高橋家稲荷～西久保公園～西久保コミセン(総会会場)

★通常総会(会場は西久保コミュニティセンター)

総会:11:30～(詳細 後日ご案内)

(文：K・K)



## 第166回定例ウォーク

## 九品仏浄真寺・等々力溪谷から上野毛自然公園

開催日時 2022年6月25日(土) 午前9時集合  
 集合場所 九品仏広場 東急大井町線九品仏駅  
 注：渋谷駅にて東急東横線乗車、自由が丘駅にて東急大井町線に乗り換え九品仏下車現地へ九品仏駅はホームが短いため尾山台方面の車両はドアが開きません。中央寄りの車両に御乗車ください。また、急行は停止しません、普通列車に御乗車ください。

解散場所 二子玉川駅前 午後1時30分頃  
 歩行距離 約8km

今回のウォークは、九品仏浄真寺・等々力溪谷・玉川野毛町公園等世田谷南部の散策です。

浄真寺の地は元々奥沢城址であったが、当地の名主七左衛門が徳川幕府より寺領としてもらい受け、延宝6年(1678年)珂碩上人によって開山された。本堂の対面に3つの阿弥陀堂があり、それぞれに3体 合計9品の阿弥陀如来像が安置されている。この9品の仏から浄真寺は通称「九品仏」と呼ばれています。漆黒の仁王門を潜ると風格漂う寺院と整備された庭園が目につく、また、銀杏やかやの木の巨木は天然記念物に指定されています。

参拝後、猫じゃらし公園にて小休憩し等々力溪谷へ。等々力溪谷は都内唯一の溪谷で、多摩川支流の谷沢川が国分寺崖線の大地を侵食してできたもので、台地と溪谷との高低差は10m。整備された等々力溪谷公園の川沿いには、等々力溪谷2・3号横穴古墳跡、等々力不動尊、等々力の滝や国分寺崖線の剥きだした地層、湧水などを見られる遊歩道がある。鬱蒼と茂る雑木林と川の流れが作り出す景観は深山幽谷の趣。

その後、竹林や滝の石組み、書院などがある風雅な趣の等々力溪谷日本庭園へ。芝生広場から庭園を通り抜けてお椀を伏せたような形で、日本最大級の帆立貝式前方後円墳(日本で3番目の規模) 野毛大塚古墳へ向かい見学後、玉川野毛町公園にて昼食休憩を取ります。

昼食後、第三京浜道路を潜り閑静な住宅街を抜け、国分寺崖線の地形を生かした自然豊かな上野毛自然公園にて小休憩し、東急グループの創始者五島慶太氏が開館した五島美術館(国宝、重要文化財の展示物が多くありますが今回は入館しません)脇を通ってゴールの二子玉川駅へ向かう。

再開発が進み、高層ビルが林立し、整備されたおしゃれな二子玉川駅周辺は若者の人気スポットです。ブラ散歩をお楽しみください。

**歩行コース** 九品仏広場/スタート→九品仏浄真寺→猫じゃらし公園→駒八通り→ゴルフ橋→等々力溪谷公園(2・3号横穴古墳・利剣の瀧・等々力不動尊)→溪谷公園日本庭園→野毛大塚古墳→玉川野毛町公園/昼食→第三京浜道路→上野毛自然公園→五島美術館→二子玉川駅前/ゴール

(文:M・M)

## 例会ウォーク実施報告

2022年1月8日(土)

## 第162回定例ウォーク

## 新春 亀戸七福神と亀戸天神社詣で

2022年の初ウォークは、前々日(6日)に降った雪が道端に少し残っている中でのスタートでした。道端に残っている雪はツルツルで下手に歩くとすってんころりん、です。42名の参加者は、足首などをいつも以上にしっかりと準備運動をして9時30分過ぎスタート!

まずは、レトロな雰囲気「亀戸水神社」の前を通り「寿老人の常光寺」へ。途中、道端の雪が凍った箇所や歩道橋をそろりそろりと渡って無事到着。皆さんお賽銭をあげて真剣にお祈りしていました。

次に、「弁財天の東覚寺」→「恵比寿神と大国神の香取神社」とお参りしました。香取神社では、大黒天を大国神として祀っているのだそうです。皆さん、「へーっ!」です。

また香取神社は、武道・スポーツの神としても知られているのだそうです。境内に地元の少年野球チームと思われる子供達が多数いたのはそのせいだと思います。

このあたりで「我々の他に七福神巡りをしているチームがない」ことに気づきました。参加者のどなたかがいわく、「昨日で『松の内』が終わったからではないか?日本人は真面目だからなあ。」

香取神社を出て北十間川に沿って行くと「福祿寿の天祖神社」です。ここでは「お焚きあげ」をしていました。

亀島小学校記念公園で一休み。→横十間川に沿って布袋尊の龍願寺へ。ここでも皆さんしっかりと並んで順番にお賽銭をあげてお祈り。

そして、最後の七福神「毘沙門天の普門院」へ向かいます。

下町の空気が感じられる閑静な街並みを進み、そろそろ車の通る気配が感じられるなあと思ったら普門院がありました。七福神巡りの旗なども少なく、ひっそりとした雰囲気のお寺でした。

以上、亀戸七福神を42名全員けがもなく無事に巡ることができました。

スカイツリーを眺めながら、途中からは太陽も照ってきて暖かさ少し感じられました。気持ちの良い新春の初ウォークでした。

最後に亀戸天神社にお参りして解散しました。12時近くでした。

亀戸天神社はさすがに参拝の方も多くて、皆さんだいぶ並んでお参りしていました。

(会員:佐藤 修悦)

2022年1月22日

第4回シリーズウォーク 【中止】

玉川上水をくぐる【久我山から四谷大木戸跡】

※新型コロナウイルス感染防止のため、ウォークは中止となりました。

2022年2月26日(土)

第162回定例ウォーク 【中止】

松田町の河津桜と菜の花鑑賞ウォーク

※新型コロナウイルス感染防止のため、ウォークは中止となりました。

2022年3月12日(土)

第50回カルチャーウォーク 【中止】

キッコーマンものしり醤油館と野田郷土資料館

※新型コロナウイルス感染防止のため、ウォークは中止となりました。

2022年3月26日(土)

第163回定例ウォーク

見沼通船堀と見沼桜回廊を歩く

曇天のなか東浦和駅を、総勢38名でスタート。最初に、パナマ運河より180年も前の1731年に造られた閘門式運河である見沼通船堀へ。荒川・隅田川を経て江戸へ物資を運んだ舟運の芝川と見沼代用水西縁と東縁を結んだ運河とのこと。

八丁橋を左折し広大な田園風景を見ながらひたすら北上し、「浦和くらしの博物館民家園」に到着。江戸時代中期の茅葺農家、明治初期商家など7棟が移築されていた。園芸植物園ではモクレン、レンギョウ、花桃が咲き誇っていた。

15分ほどで天神橋を渡り見沼代用水東縁に入った。このあたりから桜回廊が始まり、満開で見沼代用水に浮かぶ花筏を期待していたが、大半が今にもパッと咲きだしそうな蕾をもった桜並木が続き残念であった。

一旦桜並木に別れを告げ、見沼大橋を渡り見沼代用水西縁へ入ったが、東縁と同様の桜並木が延々と続いていた。

しばらくして奇妙な名前の「女体神社」に到着。正式名称は『氷川女體神社』といい、御祭神である稲田姫命(いなだひめのみこと)に由来しているとのこと。大宮氷川神社が須佐之男命を御祭神としている男体社に対して女體社というらしい。

見沼氷川公園で昼食休憩となった。公園内でようやく満開の“2本の河津桜”にお目にかかることが

でき、コロナ禍を吹き飛ばす春の息吹を感じることができた。公園中央付近に編み笠をつけた案山子の彫刻が建っており、副碑“山田の中の一本足の案山子・・・”と懐かしい唱歌「案山子」の詩碑があった。

昼食後、満開の桜を想像しながら桜回廊を進んだが、風が強くなり、雲行きも怪しくなってきたので浅間橋からショートカットして14時過ぎに無事東浦和駅に到着。歩行距離が約12kmと長丁場で、少し残念な桜ウォークでしたが、参加者の皆さま大変お疲れさまでした。

(文：T・Ko)

## ホームページ情報

- [1]2022年度 年間ウォーク事業計画を4月初旬に掲載します。
- [2]5月度 例会案内を3月末掲載いたしました。
  - 5月14日(土)第165回定例ウォーク 『慈雲山曼荼羅寺から石神井公園散策』
  - 5月28日(土)第51回カルチャーウォーク 『小石川植物園から小石川後樂園』
- [3]会報第53号を4月初旬に掲載します。
- [4]ギャラリーを4月初旬に掲載します。

## 会員ニュース

2022年3月29日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

武蔵野市 3 2 0 上原 敬

## 2022年度 年会費納入のお願い

2022年度(2022年4月1日～2023年3月)の年会費未納の方は、早急に納入くださるようお願いいたします

年会費 2,000円(家族会員=1,000円)  
 銀行振込 三井住友銀行 三鷹支店 店番247  
 普通 7211530  
 郵便振替 口座番号 00110-3-615299  
 連絡先 NPO法人 むさしの歩こう会  
 180-0006  
 武蔵野市中町2-21-15 近藤 和義  
 TEL. 090-3595-6595

